

顔真卿伝

がんしんけいでん

よしかわただお
吉川忠夫 著

▼四六判・上製カバー・二〇三頁
本体 一、三〇〇 円十税

書聖・王羲之とともに書道史上に名を留める顔真卿。波瀾万丈のその生涯を著わすにもつとも相応しい碩学が文質彬彬の筆致で描出した、本格的人物伝。

2019年1月刊行



【著者略歴】

一九三七年、京都市生まれ。京都大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。東海大学文学部講師、京都大学教養部助教授を経て、京都大学人文科学研究所助教授、同教授（一九九〇～一九九三年所長）。二〇〇〇年、停年退官、京都大学名誉教授。花園大学客員教授、国際禅学研究所所長、龍谷大学文学部教授を経て、同大学客員教授。日本学士院会員。
〔王著〕『劉裕』（人物往来社。後に中公文庫）、『王羲之——六朝貴族の世界——』（清水新書、清水書院。増補して岩波現代文庫。後に清水書院「新・人と歴史」拡大版）、『侯景の乱始末記——南朝貴族社会の命運——』（中公新書）、『六朝精神史研究』（同朋舎出版）、『中国古代人の夢と死』（平凡社選書）、『秦の始皇帝』（集英社。後に講談社学術文庫）、『魏晉清談集』（中国の古典シリーズ、講談社）、『書と道教の周辺』（平凡社）、『古代中国人の不死幻想』東方選書、東方書店、『中国人の宗教意識』（中国学芸叢書、創文社）、『読書雑誌——中国の史書と宗教をめぐる十二章——』（岩波書店）、訳書に『訓注本 後漢書』（全一〇冊・別冊一、岩波書店）、『高僧伝』（全四冊、船山徹氏と共訳、岩波文庫）など。

【目次】

はじめに

一章 輝かしい家系とその生い立ち

書生門戸／節義の伝統／書芸術の伝統／父惟貞／幼少時代

二章 官界デビュー

青雲の志／張旭／硬骨の官として

三章 安史の乱

羯胡安祿山／気驕りて上都を凌ぐ／漁陽の鼙鼓、地を動して来た／平原太守として／青年李邕の献策／危機迫る／平原を去る／行在所へ

四章 息を吹き返す唐王朝

長安帰還／「祭姪文稿」と「祭伯文稿」／「争坐位帖」

五章 撫州刺史時代

「麻姑山仙壇記」／「魏夫人仙壇碑」／「華姑仙壇碑」／「李含光碑」／仏教とのかかわり／「蔡明遠帖」と「八関斎会報徳記」

六章 湖州刺史時代

『韻海鏡源』／皎然／「李左相の石樽」聯句／陸羽／張志和

七章 壮絶な最期

「李太保に与うる帖」／「礼儀集」／盧杞の姦策／李希烈のもとで／「蔡州帖」／泉下に眠る顔真卿

終章 書と人

後世における顔真卿評／書をもって自らに命づくることなかれ

あとがき

参考文献
図版一覧
顔真卿年譜

注文書	
(書店印)	様冊
ご担当	
法藏館 本体二、三〇〇 円十税	
吉川忠夫 著	住所
顔真卿伝	お電話
——時事はただ天のみぞ知る	お名前
ISBN: 978-4-8318-7723-9 C0023	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

東洋史